◆玉川大学天文台で観測できる主な「真昼の星」と見ごろ（12～2月）

おすすめ		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	レグルス（しし座）				←	—	—	—	→				
	スピカ（おとめ座）						←	—	→				
○	アークトゥルス（うしかい座）						←	—	—	—	→		
△	アンタレス（さそり座）									←	→		
◎	ベガ（こと座）								←	—	—	—	→
◎	アルタイル（わし座）									←	—	—	→
◎	デネブ（はくちょう座）	→								←	—	—	—
	フォーマルハウト（みなみのうお座）												← →
	カペラ（ぎょしゃ座）	←	—	—	—	—	→						
	アルデバラン（おうし座）	←	—	—	—	→							
	カストル（ふたご座）		←	—	—	—	→						
	ポルックス（ふたご座）		←	—	—	—	→						
	プロキオン（こいぬ座）			←	—	—	→						
	リゲル（オリオン座）		←	—	—	→							
	ベテルギウス（オリオン座）		←	—	—	→							
	シリウス（おおいぬ座）			←	—	→							

観察ノート

夏の大三角形として知られる一等星（ベガ（αLyr）、アルタイル（αAql）、デネブ（αCyg））の明るさの違いを観察してみましょう。